

沖縄・辺野古 米軍基地建設のためのボーリング調査を絶対に止めよう！

沖縄の名護市辺野古では、80代、90代のおばあ、おじを中心に、新たな米軍基地建設に反対する闘いが8年間続けられてきました。2004年4月19日には、ボーリング調査の準備作業を強行しようとした日本政府・防衛施設局に対して、「座り込み」での阻止行動が始まりました。そして、9月9日、那覇防衛施設局は、沖縄大へり墜落事故以降高まった普天間基地の早期返還、辺野古移設反対を求める沖縄の声を踏みにじり、ボーリング調査に強行着手しました。現在、辺野古では、この暴挙を阻止するべくカヌー艇や抗議船を使った海上での阻止行動、説得活動が繰り返されています。150日を超える座り込みと、連日の海上での攻防戦は大変過酷で厳しく、座り込み参加者らの体力を奪い続けています。しかし、その状況はここ大阪を始めとして、私たちにはほとんど伝わってきません。基地建設反対の声が全国ぐるみで高まっているとも到底言えないのが現状です。これは沖縄だけの問題だから、私たちには関係ないということでしょうか。

私たち、日本に住む多くの人々は、日米安保は必要だと言いながら、自分のまちに米軍基地を受け入れることになれば、猛反対するでしょう。では、そのしわ寄せは一体どこにしているのでしょうか。沖縄の面積は、日本の0.6%であるにも関わらず、米軍基地の75%が押し付けられています。そして、米軍基地があるがゆえの犯罪、騒音被害、環境破壊、経済問題などに悩まされる生活を強いられているのです。また、今一度戦争になれば、米軍基地のある沖縄は真っ先に攻撃の対象となるでしょう。その沖縄に、また新たな基地が作られようとしているのです。

このように、沖縄に対して差別的な状況を強いているのは、私たち日本に住む人間です。その中で、また新たな基地が作られていくのを黙って見ていることなど許されるはずがありません。今こそ、辺野古の基地建設問題を私たちの問題として受け止め、一緒に反対しましょう。そして、基地も戦争もない平和な世界を築くための第一歩を共に歩み出しましょう。

1. 座り込みへの参加は…
那覇バスターミナルから
沖縄バス77番系統に乗
車、「辺野古」まで約2時
間半で到着します。

2. 座り込みを続ける皆さんへカンパのお願い
現在、辺野古では海上でのボーリング調査を阻止するため
に、抗議船を調達することが必要ですが、そのための資金が
圧倒的に不足しています。みなさん、抗議船を調達するた
めの緊急カンパをお願いします！

郵便振替口座：00960-6-77258

加入者名：辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動

3. 大阪で一緒に行動してく
ださい。

●私たちは毎週土曜日の16時半～
18時半まで、JR大阪駅周辺で街頭
行動を行っています。

●10月16日（土）の18：30からミー
ティングを予定しています。

梅田東学習ルーム「C」会議室



辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動

osaka_henoko@hotmail.com

<http://www.geocities.jp/osakakoudou/>